

オーロヴェールのご注意



採用にあたってのご注意

- ① オーロヴェールの映像効果を永く維持するためにも、膜面は必ず室内側にに向けて使用してください。
- ② 十分管理された工程で製作しておりますが、完全な平面ではありませんので、投影映像にゆがみが生じることもあります。
- ③ 膜は非常に薄いものでありますので、膜面を、鉄や砂ほこりなど硬いものでこするとスリ傷がつくことがありますのでご注意ください。膜面に傷がつきますと補修できません。
- ④ 膜は実用上十分な耐久性をもっていますが、あらゆる条件に絶対的なものではありません。
- ⑤ 膜は完全に均一な状態でガラス全面にコーティングすることができないため、部分的な膜ムラや、ガラス端部に膜抜けが発生することがあります。また、膜面にはピンホールといわれる小さな点状の膜抜け部や、空気中の微細なホコリ等による付着物が発生する場合があります。これらは製法上生じるもので、これらを皆無にすることは大変困難です。予めご了承ください。
- ⑥ 工場、屋内プール、浴室、厨房、その他化学物質のガスが発生する場所や湿度が特に高い場所では、膜が劣化する可能性があるためご使用になれません。
- ⑦ 投影に必要なとなるプロジェクターについては、専門の取扱店にご確認ください。弊社ではプロジェクターは取り扱っておりません。
- ⑧ 映像の鮮明度は使用するプロジェクターの性能によって異なります。プロジェクター選定の際には、事前に現地にて投影テストを実施されることをお奨めします。



設計上のご注意

- ① 投影映像精度を期待する場合には、サッシの精度および取付け精度を含めて関係者間で事前打ち合わせを必ず行ってください。
- ② オーロヴェールは、フロート板ガラスと比較して日射吸収率が大きくなり、熱割れを起こしやすくなりますのでご注意ください。ご使用にあたっては熱割れ計算とそれに基づく検討が必要となります。



施工上のご注意

- ① 弊社板ガラス総合カタログに記載されております、「フロート板ガラスの標準施工法」に準じて施工してください。
- ② オーロヴェールは膜面に養生フィルムを貼った状態で出荷しています。
- ③ 施工時は膜面に溶接火花やモルタルなどで傷をつけないよう、またモルタル溶液が付着しないよう養生、保管に注意してください。
- ④ 保管に当たっては、日射や雨水の当たらない通風のよい室内に保管し、汚れを防いでください。
- ⑤ オーロヴェールの膜面に吸盤を取付けて施工する場合は、吸盤1ヶあたりの耐荷重を50kgとして施工してください。



使用・メンテナンスのご注意

- ① 映像効果を永く維持するためには1ヶ月に1回程度はクリーニングを行ってください。
- ② 膜面側のクリーニングは、ガーゼや柔らかい布による水拭きで行ってください。汚れのひどい場合は、液状中性洗剤を水で希釈した液で汚れを落とし、水洗いをしてください。この場合、材質の硬い清掃器具、磨き粉のような砥粒を含んだ洗剤や酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
- ③ オーロヴェールは膜面を硬いものでこすると、スリ傷がつくことがあります。この傷は修復できませんのでご注意ください。ガラスのクリーニングはできるだけ専門業者へご用命ください。
- ④ 膜面に貼付けてある表示シールは、QRコードにて注意事項を開示しています。ガラスの施工前及び施工後もシールは剥がさないようご注意ください。